

を元気にする取り組みです。

▶特集に関するお問い合わせ 道庁観光局 ☎(011)204-5303
道庁食関連産業室 ☎(011)204-5979

の歴史や文化に触れる旅

北前船の歴史を生かし、観光メニューの充実を目指します。



新幹線木古内駅活用推進協議会 事務局
(木古内町まちづくり新幹線課新幹線振興室 主査)
畑中 正実さん

当協議会は、北海道新幹線木古内駅を拠点として、駅周辺の道南西部9町の自治体や公共交通機関などが中心となり、観光による地域活性化を目指して活動しています。

当エリアでは、北前船に関連する歴史・文化ストーリーが2017年、道内初の日本遺産に認定されたことを受け、今年度から取り組んでいるのが、北前船を地域ブランドとして活用した観光地づくりです。江戸時代から明治時代にかけて、北前船の交易やニシン漁で繁栄した道南西部地域には、往時の文化や伝統が色濃く残っていることから、歴史的な観光資源をPRするとともに、地域の一体感の創出に取り組んでいます。

その一環として昨年10月、東北の旅行エージェントを招いてモニターツアーを実施。松前漬づくり体験や江差追分実演鑑賞のほか、団体ツアーでしか体験できない観光メニューを盛り込み、特別感を演出するよう工夫しました。今後は、観光資源の魅力を伝えられるガイドの養成など、受入体制の整備を進め、団体ツアーの造成につなげていきます。



モニターツアーでは、江差追分の実演(左)や地域のガイドによる解説(右)などを実施



食の魅力で北海道を発信!

●道産ワインのブランド力向上

北海道は、ブドウ栽培に最適な条件がそろった地域として注目され、近年、急速にワイナリーの集積が進んでいます。

道産ワインのブランド力を高めるために道が取り組んでいるのが、地理的表示(GI)制度です。地域の農産物や食品をブランドとして登録・保護するための制度で、2018年6月、国税庁からワインの地理的表示「北海道」が指定されました。これにより、北海道産ブドウ100%などの生産基準をクリアしたワインにのみ「北海道」の表示が可能になり、他製品との差別化や消費者の信頼性の向上などが期待できます。

道では今年度、道内外の一流シェフなどとの連携によるテストマーケティングや、国内外でのワインプロモーションなどを実施。今後は、品質向上や販路拡大、ワイン造りに携わる人材育成などに取り組んでいきます。



ホッカイドウ GI Hokkaidoは、生産基準を満たした道産ブドウ100%の上質ワインの目印

道産ワインのおいしさを広め、世界市場での認知度を高めたい。



NPO法人
ワインクラスター北海道
代表理事
阿部 眞久さん



道内には41カ所のワイナリーがあり(2019年11月現在)、それぞれに個性豊かなワインが造られています。当法人は地理的表示「北海道」使用管理委員会の事務局として、道産ワインの普及のための活動を進めています。

道と連携して今年度に取り組んだのが、シンガポール、ロンドン、東京で開催した道産ワインと食のプロモーションイベント。中でもロンドンは、世界のワイン流通の拠点として知られ、こうした場で道産ワインに好意的な評価を得られたことに手応えを感じつつも、今後は、品種や製法の特長をしっかりと伝えることで世界市場での認知度を高めていくことが課題だと感じました。

また、道産ワインの価値を広めるためには、飲食店をはじめとするプロ向けのプロモーションも重要です。どんなシーンや料理に合わせて道産ワインを提供するとおいしく味わってもらえるかを学び合う場として、プロ向けのワインセミナーなどを開催し、道産ワインの価値を知って選んでもらえる環境づくりを今後も進めていきます。



ロンドンで行われたプロモーション



プロ向けのワインセミナー

まさかは必ずやってくる
+ 大切! 防災ガイド
防災・災害情報は 北海道 危機対策 検索

3月は真冬の寒さが和らぐ季節ですが、時には急激な暖気で急速に雪解けが進み、想定外の被害が発生することがあります。一昨年3月上旬には記録的な大雨や気温上昇による融雪のため、標茶町をはじめ道内各地で浸水などの被害が発生しました。気象情報に注意し、最新のハザードマップと避難場所を確認しておきましょう。

2018年3月 増水した釧路川(標茶町)

融雪災害に備えましょう
気象情報に注意し、避難場所などを再確認!



標茶町役場総務課
交通防災係長
伊良子 一貴さん

▶道庁危機対策課 ☎(011)204-5008

いきいき 地域から
総合振興局・振興局の話題をお届けします。



で氷上露天風呂やアイスバー、アイスチャペルなど、雪と氷の世界が楽しめます。

また、上士幌町の「ぬかびら源泉郷スキー場」では、上質なパウダースノーでスキーやスノーボードが満喫でき、歩いて5分のところには源泉かけ流しの温泉もあります。まだまだ冬を楽しみに、ぜひ十勝

鹿追町観光協会 検索 ▶鹿追町観光協会 ☎(0156)66-1135
上士幌町観光協会 検索 ▶上士幌町観光協会 ☎(01564)7-7272

十勝総合振興局
十勝で、まだまだ冬を楽しもう!

鹿追町の然別湖に真冬の2カ月間だけ現れる「しかりべつ湖コタン」では、3月22日(日)まで



しかりべつ湖コタン 氷上露天風呂

ひだか振興局 ひだかの春を満喫しよう!

ひだかの春は、春ウニや桜など魅力的なコンテンツが多くあり、管内では4月から5月にかけて「えりもうに祭り」「さまにウニまつり」「浦河桜まつり」「しずない桜まつり」などイベントが盛りだくさん。また、ひだかの春をPRする「ひだかSpring Premium」を4月から5月の期間実施し、PRイベントや素敵な企画を予定しています。一昨年、日高厚賀ICが開通し、札幌から車で約70分とぐんと近くなったひだかの春を、満喫しに来てください。

ひだか観光ナビ 検索 ▶日高振興局地域政策課 ☎(0146)22-9077



※写真はイメージです。

お知らせ 道議会
定例会の概要などをお伝えします。

令和元年第4回定例会(11/26~12/12)

■定例会の概要
知事から予算案3件(総額64億7,700万円)と条例案10件、その他の案件8件が提案され議決するとともに、前会より継続審査の決算案件4件を認定しました。
また、議員や委員会から提出された意見案5件を原案のとおり可決しました。

■本会議や予算特別委員会の主な議論

- 統合型リゾート施設(IR)の誘致判断とその判断に至った経緯および今後どのような対応を行っていくのか
- JR北海道の問題に対し、オール北海道による国に対する提言に向けて、道としてどのように取り組んでいくのか
- 幌延深地層研究計画について、計画延長の申し入れにどう対応し、その内容を道民にどのように説明していくのか
- 法定外目的税「(仮称)観光振興税」について、先行して検討している自治体との調整など、道は今後どのように導入に向けて取り組んでいくのか
- 東京2020オリンピック競技大会のマラソンと競歩について、札幌市での開催が決まったが、道は今後どのように組織委員会や札幌市などと連携し、取り組みを進めていく考えなのか
- 日米貿易協定の合意に対し、北海道の農畜産業への影響を道はどのように認識し、また持続的な発展に向けて、今後どのように取り組んでいくのか

■主な議決の状況

- ◎知事提出案件 25件
- 予算案 3件
台風災害などによる被災施設の早期復旧や再度災害の防止を図る経費 など
- 条例案 10件/その他 8件/決算 4件
北海道無料低額宿泊所の設備及び運営に関する基準を定める条例案 など
- ◎議員・委員会提出案件 5件
- 意見案 5件
日米貿易協定に関する意見書 など

■議員と札幌大学学生との意見交換会



意見交換会後の記念撮影

札幌大学との包括連携協定に基づき、議員と学生が「外国人労働者の受け入れ」などといった北海道の諸課題について意見交換を行いました。

～次回定例会のお知らせ～
令和2年第1回定例会は、2月下旬に開会予定です。最新情報はウェブサイトやツイッター(@hokkaidogikai)などをご覧ください。

～ウェブサイトをご覧ください～
議会中継・録画、議会の日程、会議録、傍聴・見学案内、議会時報などをご覧いただけます。
北海道議会 検索
質問などの詳細は、冊子「北海道議会時報」でもご覧いただけます。各振興局等での閲覧のほか希望者への配布もしますので、下記にご連絡ください。
▶議事事務局政策調査課 ☎(011)204-5691